



# 生徒指導だより

令和4年7月22日  
岐阜清流高等特別支援学校  
生徒指導部



新学期をスタートして4か月が過ぎようとしています。新型コロナウイルス感染症の状況は一進一退を繰り返しており、学校行事や学習に制限のある4か月でした。そんな中でも、皆それぞれの目標に向かって懸命に取り組んできました。

皆さんがこの4か月間で取り組んできた経験は、将来につながる力となり目標達成のために役立つものです。自分で考え、行動することが大切です。夏休みは、これまでの学校生活を振り返り、自分の目標や進路について考える大切な期間です。自己実現のため、成長するための貴重な機会です。将来の自分のために何ができるかを考え、充実した生活を送ってください。

そして、別紙「夏休みの生活心得」を守り、新型コロナウイルス感染症予防に努め、安全で充実した夏休みとなるよう心がけましょう。

## 第2回情報モラル講話実施

第2回情報モラル学習を行いました。1年生は『安全なインターネットの使い方（LINEトラブル）』、2年生は『不適切な投稿（デジタルタトゥー）』、3年生は『キャッシュレス決済・フィッシング詐欺』について学習しました。夏休みを前に、自分の情報機器の使い方が正しいのか考えることができました。また、メールやインターネット上に投稿する際には、相手の気持ちを考えることや、本当に投稿しても大丈夫か考えることの大切さを確認しました。さらに、『情報モラル行動宣言』を一人一人記入し、今後守っていく約束を確認しました。インターネットは、非常に便利なものですが危険もたくさん潜んでいます。今回学習したマナーやルールをしっかり守り、トラブルに巻き込まない・巻き込まれないよう上手にインターネットを利用していきましょう！



## 広がれ！交通安全、あいさつの輪

7月11日（月）～21日（木）の期間、生活委員会とMSリーダーズの生徒が中心となり、夏の交通安全&あいさつキャンペーンを実施しました。学校前の横断歩道に立ち、交通安全に伴う啓発活動と、あいさつ運動を行いました。キャンペーン中は、ビジネス情報コースの生徒がデザインしたのぼりを掲げて、通行する車両へ交通安全を呼びかけました。活動後に「こちらがあいさつをするとあいさつを返してくれる地域の方がいて嬉しかった」と言う生徒がいました。こういった活動が、地域の方々への啓発になると同時に、自分たちの安全意识や自発的なあいさつ意識の向上に繋がっていくことを願います。

